

## 地形と西南戦争



25. 11. 17

防衛研究所戦史研究センター 斎藤達志

## 目次

- 1 地形とは何か？ 陸戦と地形
- 2 攻撃と防御
- 3 地形から見た戦場
- 4 地形から見た戦い
  - (1) 高瀬の戦い
  - (2) 田原坂の戦い
  - (3) 木留・荻迫の戦い
- 5 地図について

### 地形とは何か？ 陸戦と地形

地形を分析すれば戦いの様相がみえてくる！

地形とは？

- ・稜線及び水系
- ・地表面土質
- ・植生
- ・人工物

戦術的には？

- ・視界及び射界
- ・隠蔽及び掩蔽
- ・障害
- ・人工物

緊要地形

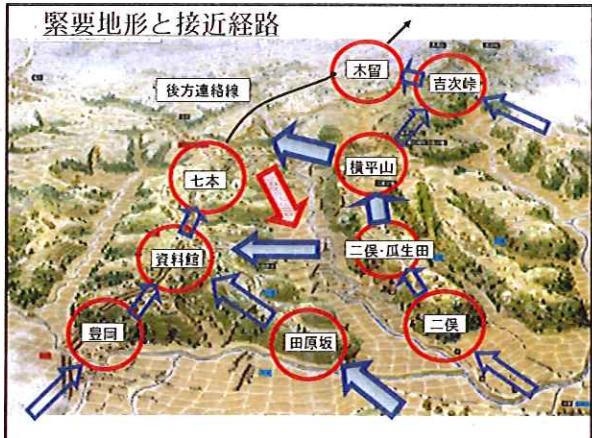
### 緊要地形とは？

- ・射撃（砲撃）ができるため攻められにくい地形
- ・防御を行う（相手を阻止できる）地域
- ・攻撃の支とう（支援後拠）となる地域
- ・敵の準備を放棄、若しくは退路を遮断できる地域

↓ 緊要地形を連ねた経路

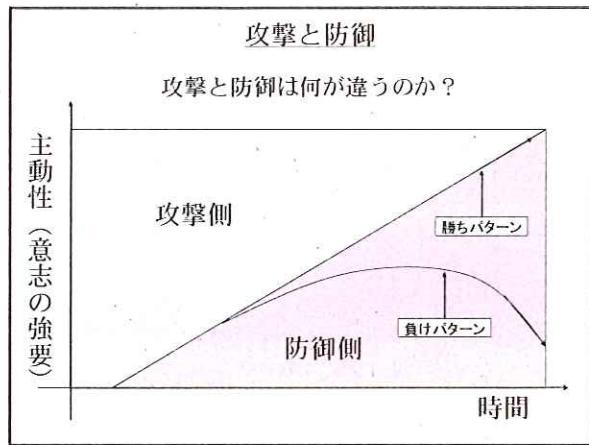
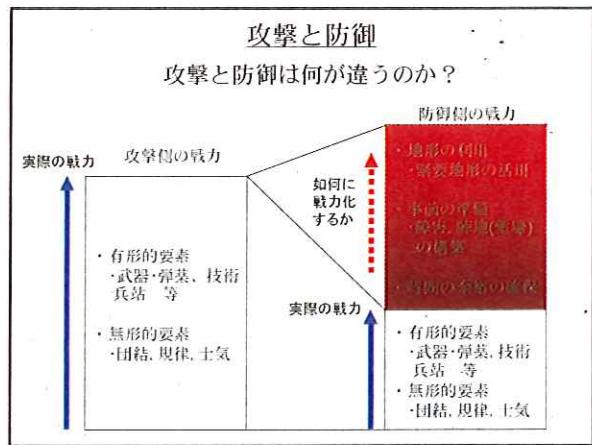
- 接近経路
- ・平地接近経路
- ・山地接近経路
- ・谷地接近経路

### 緊要地形と接近経路



### 花岡山の例





**攻撃と防衛**

1 攻撃とは？

行動の自由を保持して主動的に我が意思を敵に強要し、緊要な時期と場所において物損画面にわたる戦闘力を計画的に集中することができるので、決定的な成果を獲得するための最良の戦術行動

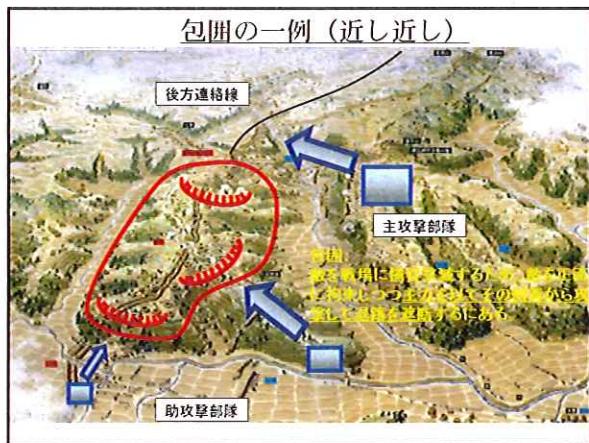
主眼：敵を戦場に捕捉してこれを撃滅するにある。

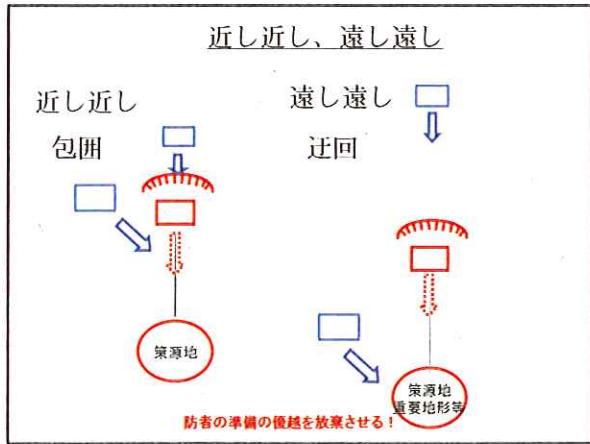
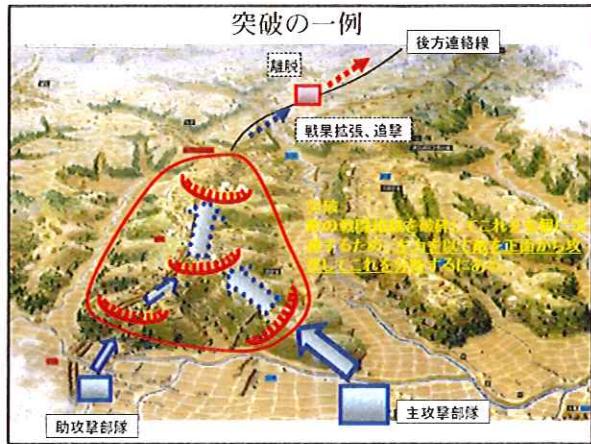
2 攻撃機動の方式

迂回：敵の準備しない地域において決戦を求めてこれを撃滅するため、敵の準備した地域を避けてその後方に進出するにある。

包囲：敵を戦場に捕捉撃滅するため、敵を正面に拘束しつつ主力を以てその側面から攻撃して退路を遮断するにある。

突破：敵の戦闘組織を破碎してこれを各個に撃滅するため、主力を以て敵を正面から攻撃してこれを分断するにある。

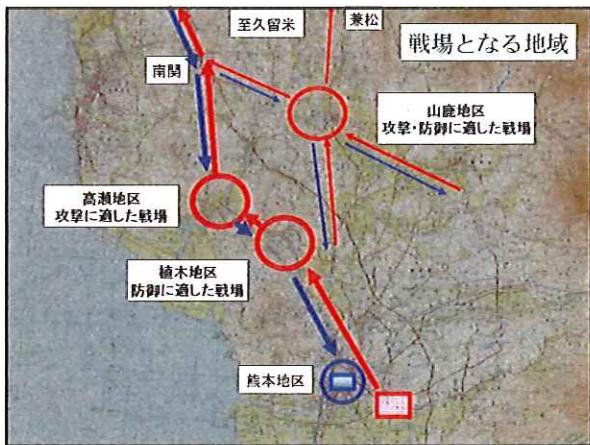
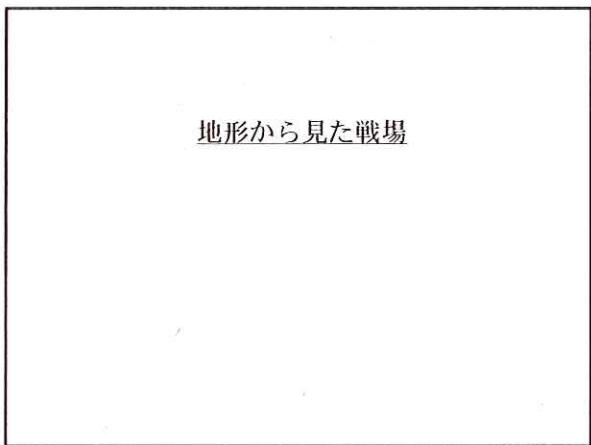
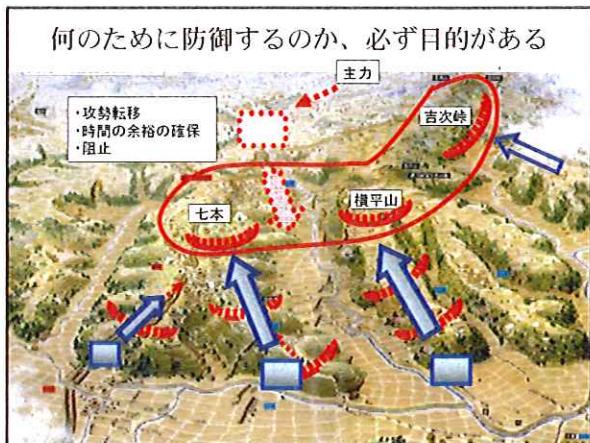




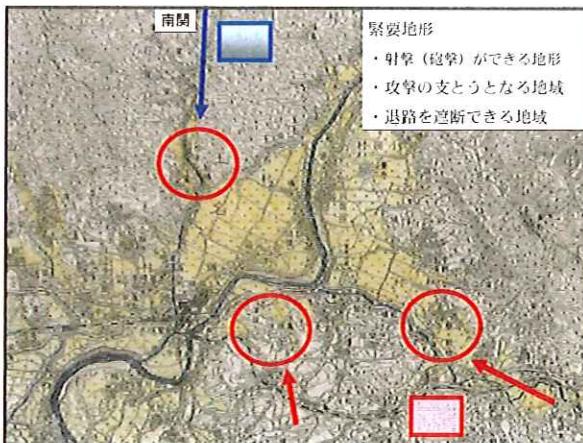
2 防御とは？

自ら選定した地域において敵の攻撃を待ち受け、地形の利用及び事前の準備によって勢力の劣性を補い、空地からの優勢な敵の攻撃に対しても強靭な戦闘を遂行し得る反面、ややもすれば受動に陥り、戦闘力を分散して行動の自由を失いやすい。

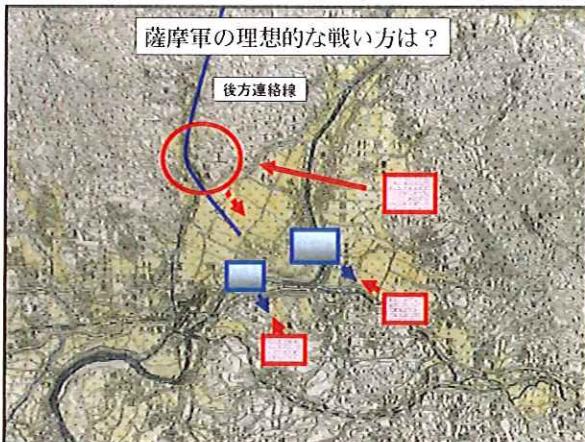
主眼：陸地による阻止火力及び機動打撃によって敵の攻撃を破壊するにある。



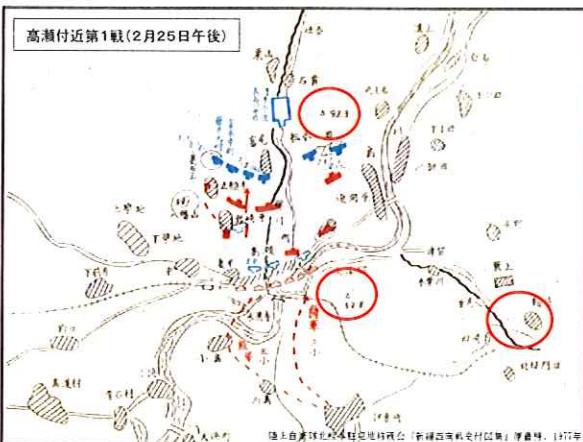
地形から見た戦い　－高瀬の戦い－



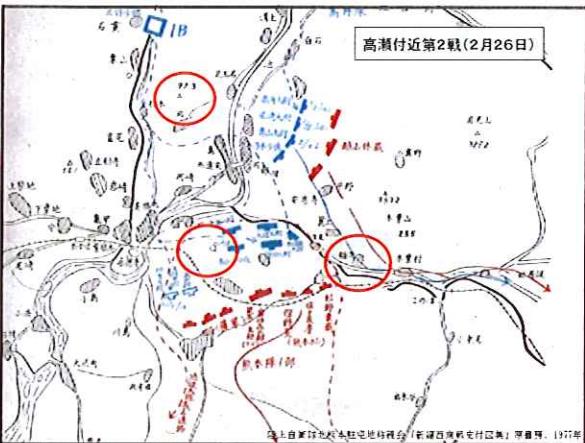
薩摩軍の理想的な戦い方は？



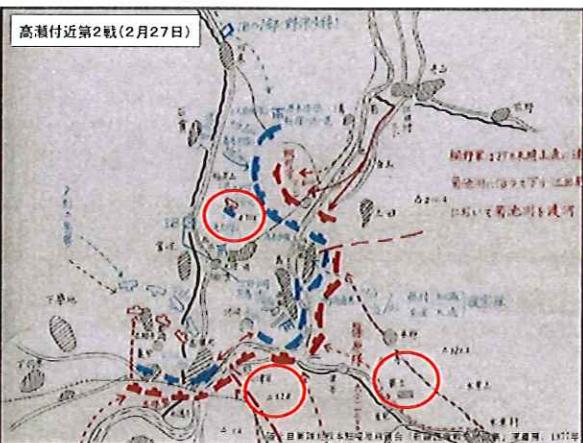
高瀬付近第1戦(2月25日午後)

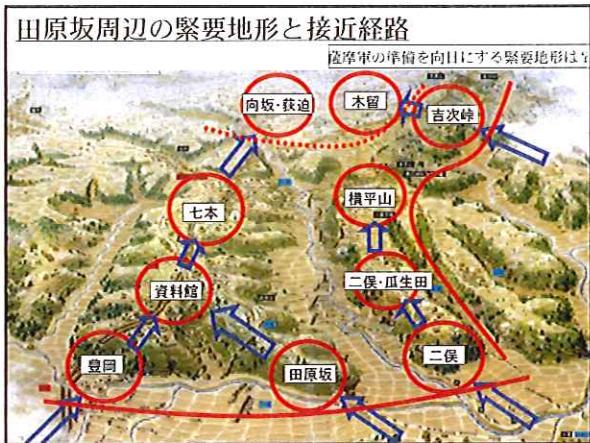
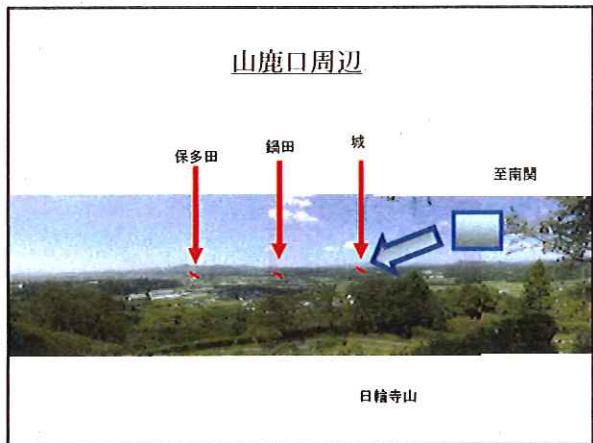
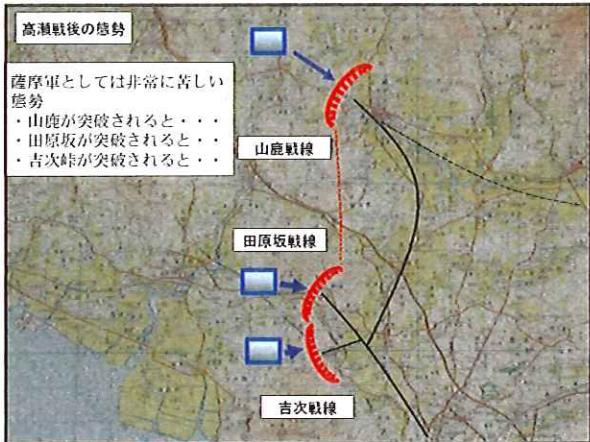
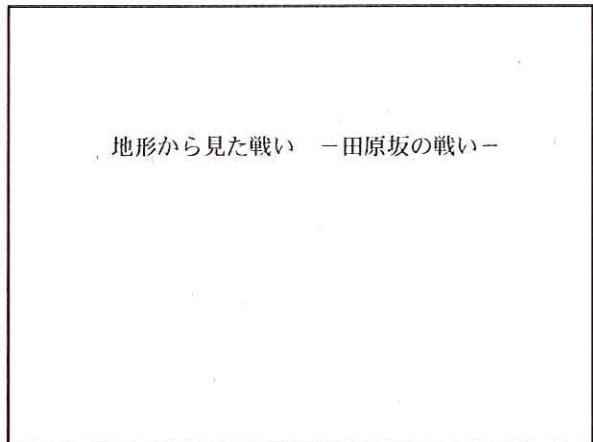


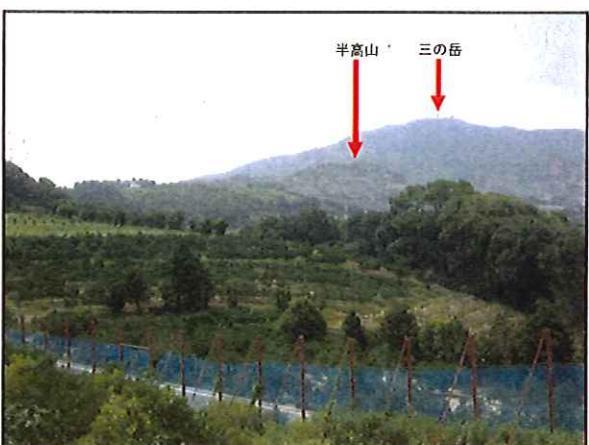
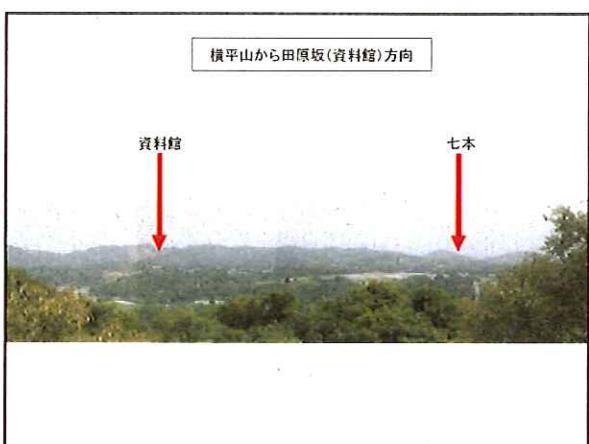
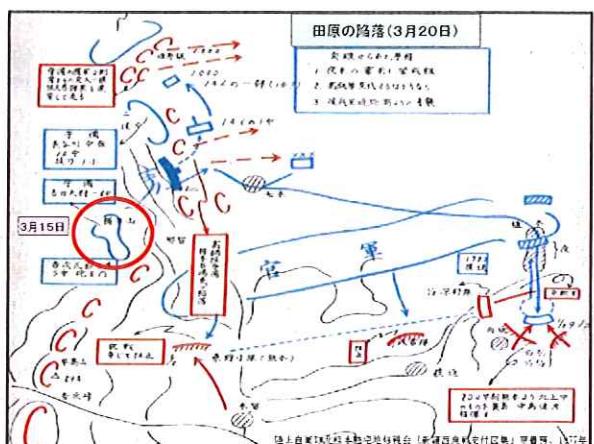
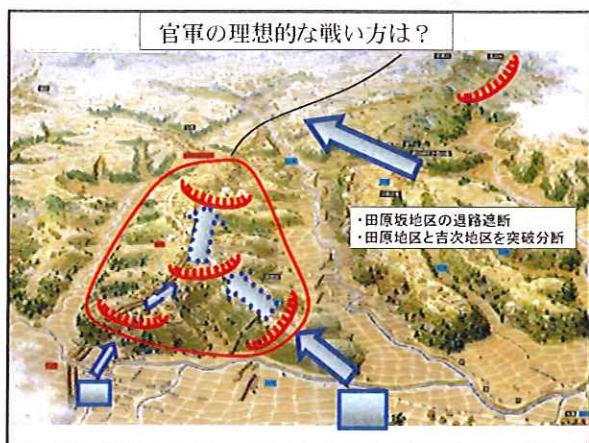
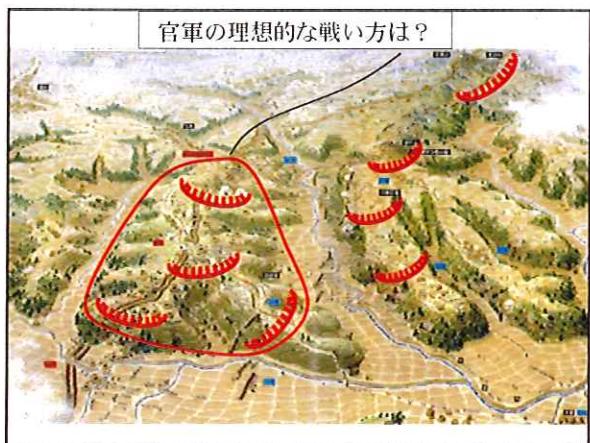
高瀬付近第2戦(2月26日)

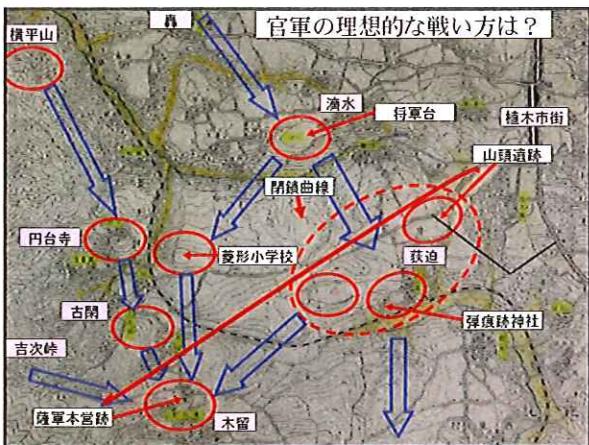
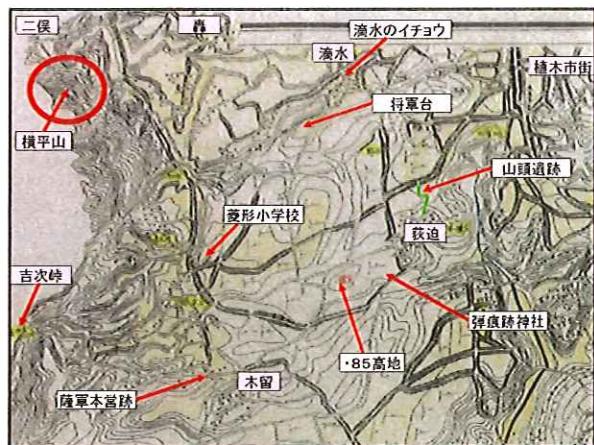
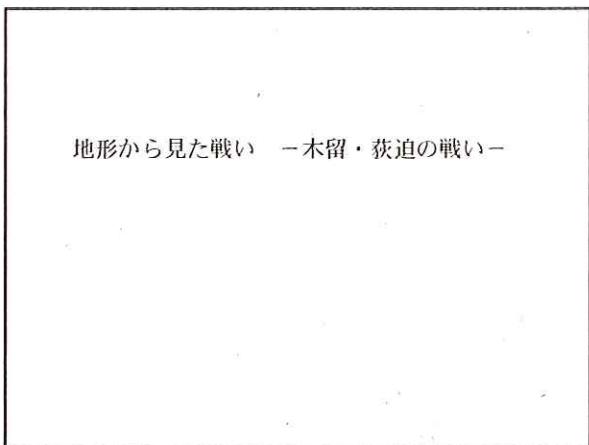


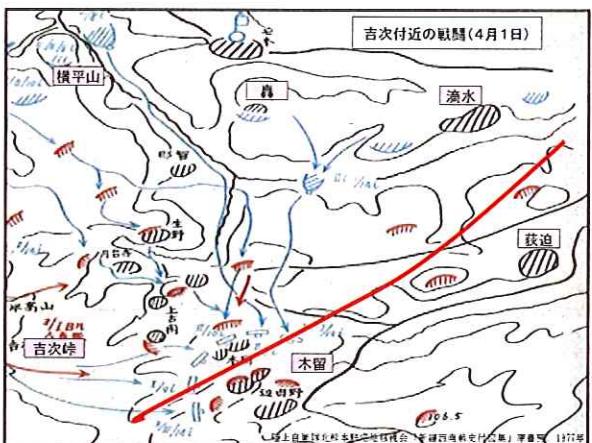
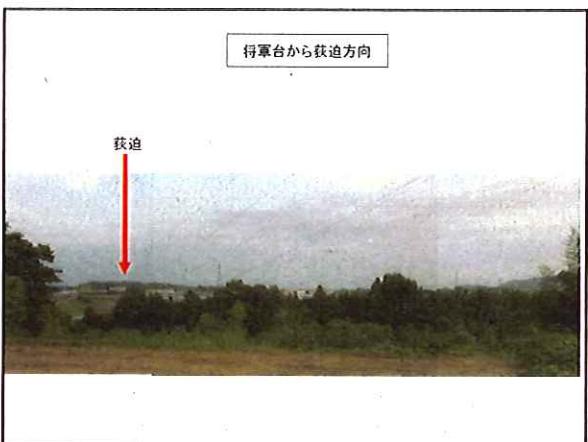
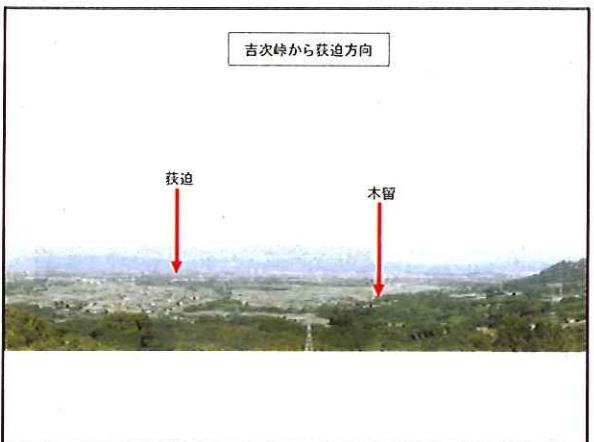
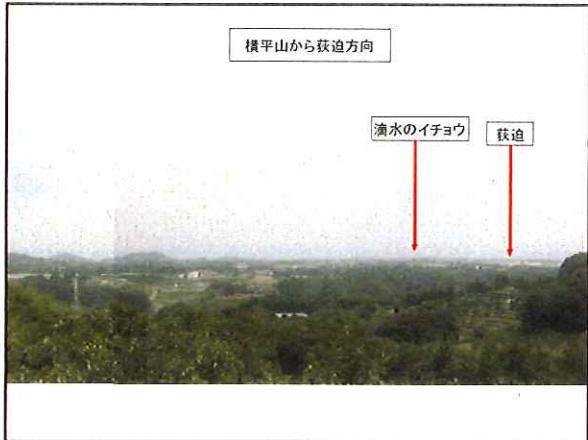
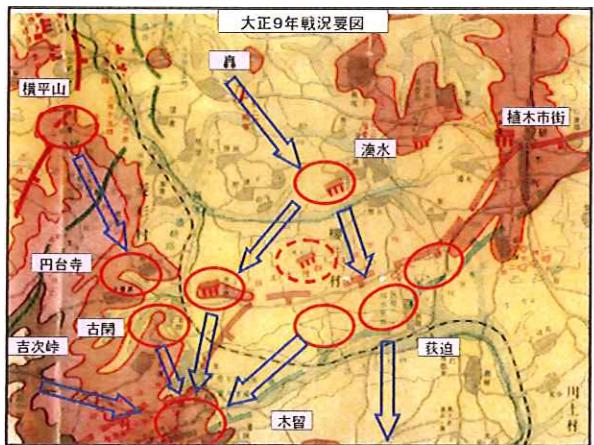
高瀬付近第2戦(2月27日)







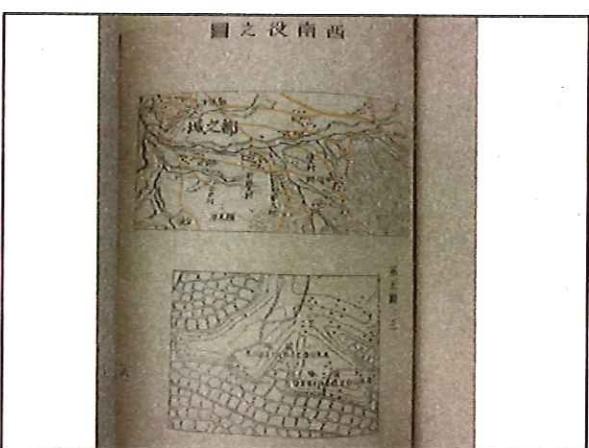
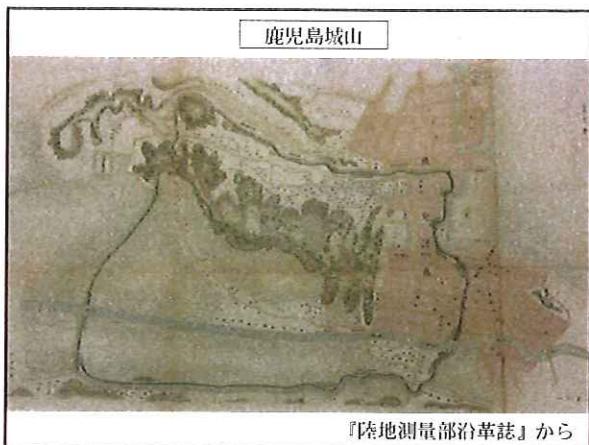


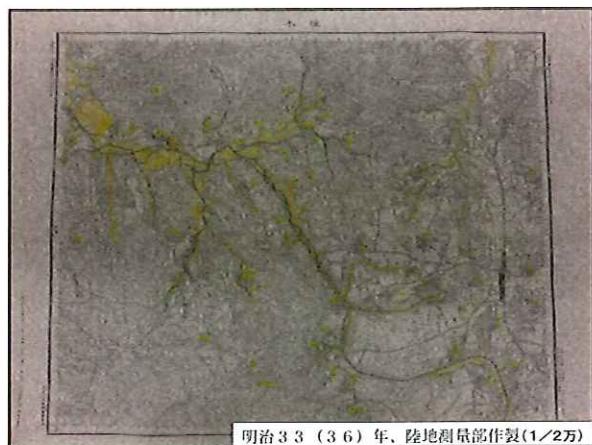
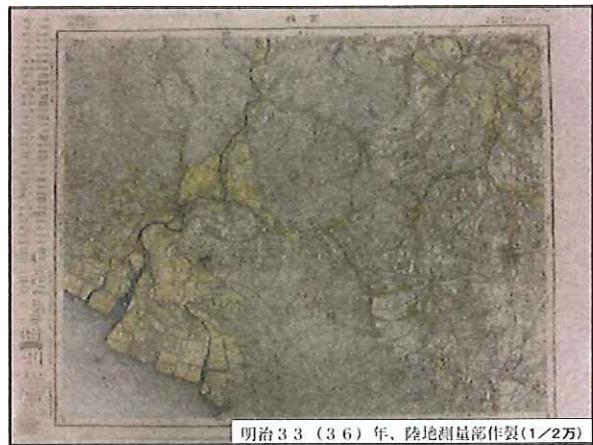


4月14日  
の全般状況

## 地図について

当時の地図はどのようなものだったのか？





おわりに  
陸戦と地形

なぜ、ここが戦場となったのか？  
この戦場で一番重要な地形はどこか？  
なぜ重要なのか？この地形の意義は？  
この地形での戦いの様相はこうなるはずだ、  
では実際は？

戦跡を見る際の多少なりとも参考になれば幸いです！

明治33(36)年、陸地測量部作製(1/2万) 高瀬

至 南関

高瀬の戦い

△92.3

高瀬

田原坂の戦い

二俣

櫛平山

木留・荻迫の戦い

田原坂

櫛木市街

半高山

荻迫

吉次峠

木留

吉次峠の戦い

三の岳

至 熊本城

